

臨床研究の実施に関する情報公開

静岡県立総合病院では、臨床研究倫理委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施します。関係各位の御理解と御協力をお願い申し上げます。

研究の拒否	患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために試料・情報が使用されることにご了承いただけない場合は、問い合わせ先までご連絡ください。
研究課題名	日本語版 The Richards-Campbell Sleep Questionnaire(J-RCSQ)を用いた ICU 入室患者の主観的睡眠評価の実態と J-RCSQ に影響する要因について
研究機関名	静岡県立総合病院
研究責任者	3G 病棟 看護師 田中舞
研究期間	院長の許可を受けた日(2022年7月11日)～2024年3月31日
対象者	2020年6月より2021年5月までに、当院集中治療室(以下 ICU)に24時間以上入室し7日以内に退室された20歳以上の患者さんを対象にしています。
当該研究の意義・目的	<p>睡眠は、人間が日常生活を送るために必要な心身のエネルギーを回復させるための基本的ニードであり、ICUに入室する患者さんの回復過程においても重要な役割を担っています。</p> <p>しかし、ICU入室患者さんの睡眠は、侵襲的な治療に加え、環境要因・生理学的・心理的要因により、一般的に質・量ともに大きく障害されています。ICU入室患者さんの睡眠障害は、感情的な障害に加えて、せん妄発症、人工呼吸期間の延長、免疫力低下、認知機能障害の要因となっている可能性が示唆されていることから、睡眠障害は重大な問題として取りあげる必要があります。</p> <p>今回の研究では、当院のICUに入院している患者さんの睡眠についてデータ収集することにより、ICUの患者さんの主観的睡眠の実態と、影響する要因を明らかにすることを目的としています。得られた結果により、ICUに入室している患者さんの主観的睡眠評価の実態とその要因が解明され、医療者が睡眠障害を改善するケアや介入方法が導かれることを期待しています。</p>
方法および研究で利用する試料・情報について	<p>①対象となる患者さんの診療録(カルテ)から次の情報を調査します。本研究は既存のデータを使用するため、研究対象者に生じる負担やリスクは生じません。</p> <p>・患者背景(年齢、性別、不眠関連併存疾患、入室形態、疾患群、主要治療介入、入室時間、入院前からの睡眠に影響を及ぼ</p>

	<p>す内服薬の使用)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病態生理因子(生理学データ：重症度スコア) ・環境要因(騒音、光、看護ケアによる睡眠の影響) ・治療ケア因子(睡眠剤、向精神薬、鎮痛剤使用の有無、人工呼吸器装着の有無及び時間、中心静脈ライン・動脈ラインなどライン類挿入の有無、初回端坐位日、痛みによる不眠への影響)
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の間合せ先にご相談ください。
資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、この研究において開示が可能であると考えられる範囲内で、この研究の計画や方法についての資料をご覧いただくことができます。
間合せ先	<p>◆その他、この研究に関するお問合わせ、ご意見等ございましたら下記へご連絡ください。</p> <p>静岡県立総合病院 3G 病棟 看護師 田中 舞 054-247-6111(代表)</p>